

ファッション文化専門学校DOREME 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科	クリエイター学科
専攻	アーツ&クラフト専攻

授業科目	1年次		実務経験者 科目時間	ページ数
	単位 時間数	実務経験 教員		
デジタルクリエイト	72	○	72	3
広告デザイン	72	○	72	4
SNS研究	72	○	72	5
グッズメイキング	72	○	72	6
ACゼミナール	72	○	72	7
彫金	126	○	126	8
ワックスワーク	72	○	72	9
クラフトデザイン	18	○	18	10
レザーワーク	72	○	72	11
ACワーク	72	○	72	12
ACワーク（選択）	72	○	72	13
オープン実習	144	○	144	14
ファッションイベント	68	○	68	15
卒業制作	72	○	72	16
計	1076		1076	

クリエイター学科

アーツ&クラフト専攻 1年次 教育課程

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	4
科目名	デジタルクリエイト	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 一磨	必修	選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標 及びテーマ	i-padを使用し、ネット販売や商品企画に必要なアプリを一通り使えるよう、応用を学ぶ。		
授業の概要	i-padのアプリ、主にプロクリエイトを使用し、画像編集、動画制作、デザイン制作が出来るように実技を踏まえて学ぶ。		
授業計画	前 期	4月	授業予定や目標
		5月	デザインとは
		6月	画像編集
		7月	↓
		8月	↓
		9月	動画制作
	後 期	10月	↓
		11月	デザイン企画
		12月	↓
		1月	応用実践
		2月	
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	4
科目名	広告デザイン	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 一磨		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標及びテーマ	イラストレーター、フォトショップの基礎を学び、ポスター、企画書、POP等を作れる様にする。		
授業の概要	イラストレーター、フォトショップを使い、レイアウトの基礎や配色等を実例から学び、ACゼミナール(リテール)にて展開しているECサイト用ポスター、POP等を連用して制作する。		
授業計画	前期	4月	イラストレーター基礎学習
		5月	フォトショップ基礎学習 ECサイトロゴ制作
		6月	実在ポスターの模倣制作
		7月	オリジナルポスター制作
		8月	撮影知識
		9月	画像トリミング補正
	後期	10月	画像形式と取り扱い
		11月	報告書作成
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	↓
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率 20% 課題60% 実技20%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	4
科目名	SNS研究	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 一磨		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標 及びテーマ	SNSサービス（インスタグラム・ツイッター）を通して、作品の発表や情報交換の場を築き、今後作家として活動していくための土台作りを行う。また、フォロワーを増やすためのノウハウを学ぶ。		
授業の概要	スマホのアプリを用い写真を撮影し、スピーディーな加工、投稿までを最適化する技法を学ぶ。また、情報を届けたい層にいかに関心を持っていただくかを年間テーマにし、年間を通して多角的なアプローチを行っていく。		
授業計画	前期	4月	写真構図
		5月	カメラの仕組み。周辺機器開設 投稿リアクションレポート
		6月	アプリ解説 投稿リアクションレポート
		7月	文章練習・メディア研究 投稿リアクションレポート
		8月	撮影知識 投稿リアクションレポート
		9月	画像トリミング補正 投稿リアクションレポート
		10月	動画編集解説 投稿リアクションレポート
	後期	11月	報告書作成
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	↓
		3月	↓
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率 20% 課題60% 実技20%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	4
科目名	グッズメイキング	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	菅野 一磨	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標 及びテーマ	レーザー素材+アルファ ミシン仕立てのファッション商品を研究・制作する。 ファッションイメージと素材表現の研究 ファッション性のあるオシャレアイテムを研究・制作・提案する		
授業の概要	8大ファッションの確認とそこからセレクトしたマップづくり ファッションイメージに沿ったデザインができるようなトレーニングを意識する ファッショングッズ提案 イメージマップ・デザイン・素材手配・パターン 実物制作・撮影 まとめ		
授業計画	前期	4月	イメージ表現(素材)のリサーチ
		5月	マップ制作 デザイン提出 制作物決定(2点以上)
		6月	実物制作 *後期までに自分の得意分野(方向性と技法)を探ることも兼ねる
		7月	〃
		8月	〃
		9月	制作物撮影 カタログまとめ (トータルコーディネート提案) プレゼン 評価
	後期	10月	卒業制作 ゼミナールのスケジュールに準ずる
		11月	個人指導 (取り組みたい素材や技法について研究してゆく) 〃
		12月	〃 審査
		1月	ファッションイベントにて 最終的な表現を完成させる
		2月	〃
		3月	評価
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A~D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度20% 課題30% プレゼンテーション20%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	4
科目名	ACゼミナール	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	菅野 敦子	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○ 銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションビジネスまたはアート出店への実学		
授業の概要	ポップアップショップや学外販売を通してビジネスの仕組み作りを行う		
授業計画	前期	4月	学外販売への準備
		5月	作品製作
		6月	企画から制作、仕入れ、管理、販売の流れを学ぶ
		7月	インターネット販売計画
		8月	
		9月	卒業制作の企画概要
	後期	10月	卒業制作 ↓
		11月	
		12月	↓
		1月	ファッションイベントに向け、作品のブラッシュアップ
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	8
科目名	彫金	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	増田 周一	必修	(選択)
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	126
実務教員	○ 金属工房「Kazaribito 飾人」の代表を務め、金属作家として精力的に作品作りをしている。彫金の技術だけでなく、作家としてのあり方、デザインとは何かを総合的に教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	基礎から応用へ、石留や、可動物などの制作		
授業の概要	地金を使った装身具の制作		
授業計画	前期	4月	ツメ留め(石留)
		5月	フクリン留め(石留)
		6月	バネ構造の制作
		7月	オリジナルアクセサリーの制作
		8月	↓
		9月	卒業制作
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	↓
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題30% 実技20%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	4
科目名	ワックスワーク	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	増田 周一	必修	(選択)
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○ 金属工房「Kazaribito 飾人」の代表を務め、金属作家として精力的に作品作りをしている。彫金の技術だけでなく、作家としてのあり方、デザインとは何かを総合的に教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	基礎からの王湯、量産作品の制作		
授業の概要	WAX素材から造る装身具の制作		
授業計画	前期	4月	プレスレットの制作
		5月	↓
		6月	モチーフリングの制作
		7月	↓
		8月	オリジナルアクセサリーの制作
		9月	↓
	後期	10月	卒業制作
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	↓
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題30% 実技20%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	1
科目名	クラフトデザイン	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	増田 周一	必修	選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	○	金属工房「Kazaribito 飾人」の代表を務め、金属作家として精力的に作品作りをしている。彫金の技術だけでなく、作家としてのあり方、デザインとは何かを総合的に教える。	
授業の到達目標 及びテーマ	正確な立体物のデザイン画を描く		
授業の概要	制作物に対するデザイン画を描く		
授業計画	前期	4月	オリジナルアクセサリーデザイン画
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	↓
	後期	10月	卒業制作物のデザイン画
		11月	
		12月	↓
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題30% 実技20%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	4
科目名	レザーワーク	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	堀内 惇平	必修	(選択)
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○ 仙台市内で革工房を営み、レザークラフト教室も開講している講師。		
授業の到達目標 及びテーマ	手袋、サンダル、服など身につける革物の制作		
授業の概要	デザインも大事だが、着やすい、使いやすいものを作れるようになる		
授業計画	前期	4月	サンダル カービングorスタッズ
		5月	サンダル カービングorスタッズ
		6月	手袋
		7月	手袋
		8月	ジャンパーorコート
		9月	↓
	後期	10月	▼
		11月	オリジナル
		12月	↓
		1月	↓
		2月	▼
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題100%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	2
科目名	ACワーク	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	菅野 一磨		(必修) 選択
授業方法	講義 演習 (実習)	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作で満足いく作品をつくる、コンテスト入賞を目指す		
授業の概要	卒業制作作品作り、企画書制作		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	作品、企画書作り プレゼンテーション準備
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	発表
		3月	コンテスト出品
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率 30% 課題40% 授業態度30%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	2
科目名	ACワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 一磨	必修	選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標 及びテーマ	他授業で与えられる作品の制作課題を完成させる。又は外部講師の作業現場や展覧会を見学し、作品制作におけるイマジネーションを養う。		
授業の概要	・ 作品制作・ 課外授業		
授業計画	前期	4月	作品制作 課外授業
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	▼
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	4
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	各学科担当者、講師		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	144
実務教員	○ (株)アングローバル、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)AZOTH、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、Keisuke Kandaデザイナー等が特別講師として講義、ワークショップを行う		
授業の到達目標及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習		

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	2
科目名	ファッションイベント	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年 <input type="radio"/>
担当教員名	菅野 一磨		<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	68
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標及びテーマ	縦割り活動であるファッションショー制作を行うことで、他学科の生徒ともコミュニケーションを図り、社会人基礎力に繋げる。主体的に行動する力、コミュニケーション能力を養い、成長に繋げる。		
授業の概要	ファッションショーの制作 演出、モデル、音響、映像、照明、広報、メイク、フィッター等各係に分かれて活動を行う。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	学校テーマ発表
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作
		11月	
		12月	卒業制作審査会
		1月	ファッションショー作品確定 モデル選考、ショー構成、テクニカル打ち合わせ
		2月	練習、PR ファッションショー本番
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	アーツ&クラフト	単 位	2
科目名	卒業制作	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	菅野 敦子	(必修)	選択
授業方法	講義 演習 (実習)	授業時間数	72
実務教員	○ 銀座三愛(現株)Ai)にて商品企画、マーチャンドライザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標及びテーマ	卒業制作を悔いのないものにし、学生生活の集大成とする。学内テーマと個人テーマを追求し、メッセージ性の強い作品を作りあげる。		
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 評価1
		1月	ファッションイベント準備 評価1を受けて修正
		2月	ファッションイベント準備 発表
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		